

金魚絵師

深堀隆介展

平成しんちう屋

2018年7.7(土) > 9.2(日)

金魚の持つ神秘性に魅了され、創作を続ける深堀隆介(1973年愛知県名古屋生まれ、横浜市在住)。深堀は透明樹脂にアクリル絵具で金魚を描くという独自の斬新な手法で注目を集める若手の現代美術家です。

1995年愛知県立芸術大学を卒業した深堀は、名古屋のディスプレイ会社にデザイナーとして勤務しますが、1999年退職、本格的に創作活動を開始し、絵画と立体を並行してさまざまな作品を制作します。しかし、次第に自分が何をすべきかを悩み、自信を失いかけていた頃、金魚を描きかけとなった転機が訪れます。それは7年間放置していた水槽で生き続ける金魚の存在に気づき、その美しさに制作意欲をかきたてられたこと。金魚に救われたというこの出来事を「金魚救い」と呼び、その後、金魚に自分を重ね、表現を追究してきました。

極めて独創的な深堀の技法は、器の中に樹脂を流し込み、その表面にアクリル絵具で金魚を少しずつ部分的に描いていき、さらにその上から樹脂を重ねます。その作業を繰り返すことにより、絵が重なり合い、まるで生きているかのような金魚が表現され、圧倒的な立体感をもって観るものに迫ります。その生き生きとしたリアリティは平面である絵画作品と立体作品の境界に揺さぶりをかける革命的絵画と言えるでしょう。こうした一連の金魚作品によって、今や国内はもとより世界的に高い評価を受けています。また、近年ではライブペインティングやインスタレーションにも力を入れ、ますます表現の幅を広げています。

本展では、初期の立体作品から初公開となる新作インスタレーション《平成しんちう屋》を含む代表作200余点により、深堀隆介の世界を紹介する本格的な個展となります。絵画でありながら立体的な躍動感にあふれ、不思議な美しさを湛えた深堀金魚を存分に愛で、お楽しみください。



©Masaru YAGI



図版:表紙《金魚酒 彩傘》2017年 江戸川アートミュージアム蔵
1.《白澄一空密》2014年 2.《金魚酒 弥月舟》2018年 3.《須磨》2016年 4.《蒼月》2016年
(1~4はすべて個人蔵)

夏休み特別企画も開催!

みんなで選ぼう
お気に入りの作品!!

夏休みに美術館・博物館・
図書館をめぐる!

ひらつか子ども審査員賞

折り紙ラリー

投票期間:7月7日(土)~8月9日(木)

期間:7月7日(土)~8月28日(火)

発表期間:8月14日(火)~9月2日(日)

対象:本展来場の中학생までの子ども

同時開催

夏の所蔵品展 - いきもの図鑑

2018年7月7日(土)~9月2日(日)



平塚市美術館

SHONAN

THE HIRATSUKA MUSEUM OF ART

〒254-0073 神奈川県平塚市西八幡1-3-3

TEL 0463-35-2111 FAX 0463-35-2741

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-muse/>

アクセス JR東京駅から東海道線、または新宿駅から湘南新宿ライン(直通)で約1時間。JR平塚駅東改札口(北口)よりバス4番乗り場乗車「美術館入口」(徒歩1分)または「コンフォール平塚前」(徒歩5分)下車。または平塚駅から徒歩20分。有料駐車場67台(1時間無料)。